

# 2022年度活動報告・2023年度活動計画

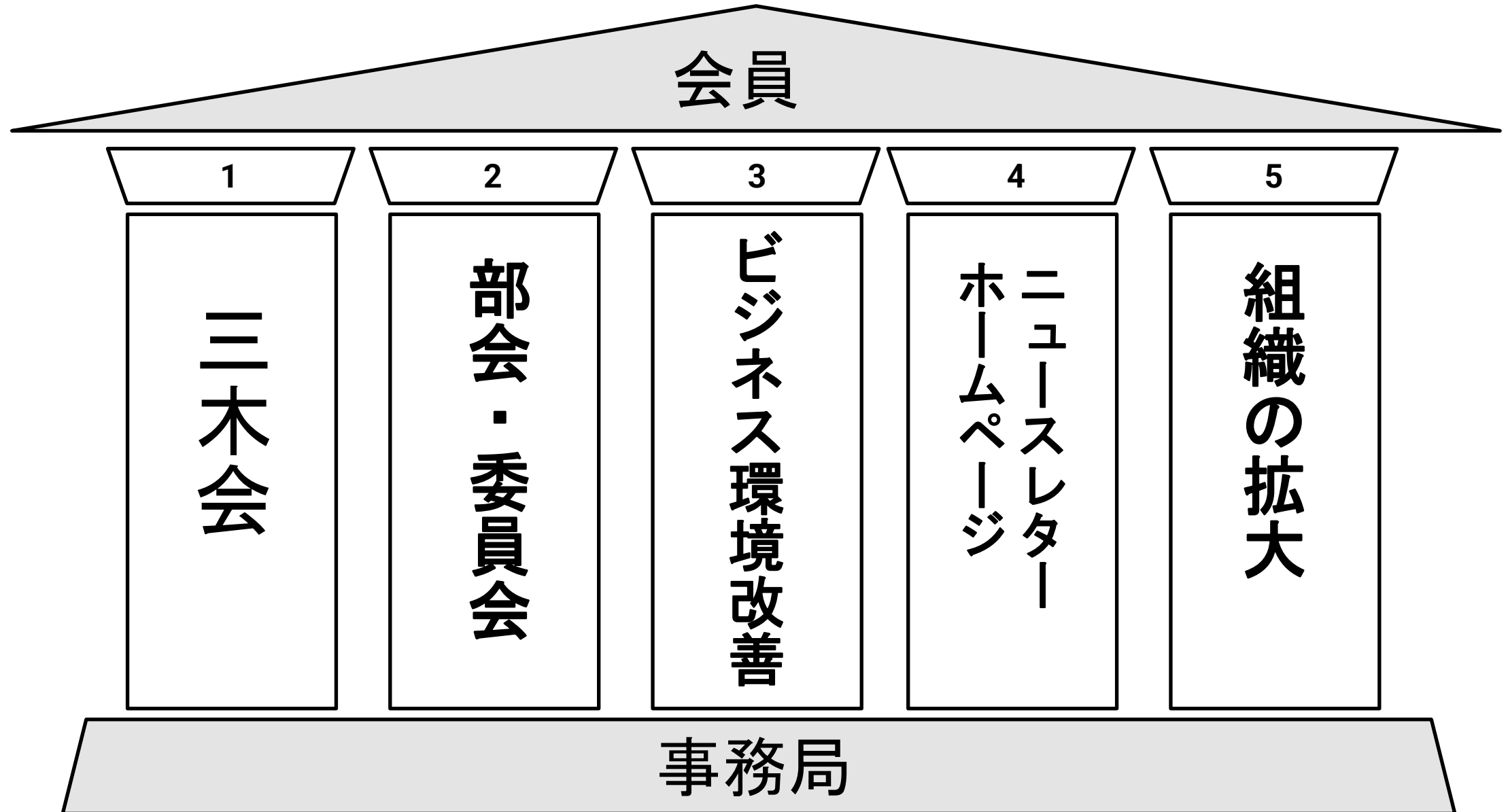


## 目次 Agenda

- 0 2023年度活動計画の5本柱
- 1 三木会の充実
- 2 部会・分科会の充実
- 3 ビジネス環境改善活動
- 4 ニュースレター、ホームページ
- 5 組織の拡大
- 6 CSR活動、事務局機能の強化

# 2023年度活動計画の5本柱

～活動を継続・強化して、より多くの企業へ参加を促す～



# 三木会の 充実

## 現状

### ハイブリット開催の実現

- ・ 22年10月より、大使館での会場参加を再開
- ・ 毎月250名が参加（コロナ前は会場参加のみ150名）
- ・ 講演は三木会でしか聞けないような内容にカスタマイズしたものが好評だった（別添「昨年度の高評価講演ベスト5」参照）

## 課題

### 講演内容とネットワーキングの充実

- ・ 三木会ならではの講演内容の充実
- ・ 会場参加者から、より良いネットワーキングの機会を望む意見

## 課題解決 アクション

### ニーズにあった講演とランチ会の開催

- ・ アンケート結果に基づき業界別の現状と課題の報告や  
インド人有識者の講演
- ・ 年に2回のランチ会の開催

# 部会・委員会一覧

貿易部会

金融部会

ロジスティクス部会

輸送機器部会

完成車メーカー分科会

素材メーカー分科会

一般部品メーカー分科会

電装品メーカー分科会

製造用設備・機械・工具・金型メーカー分科会

運輸・関連情報サービス分科会

素材・化学工業関連部会

電気および電子機器、  
通信、ソフトウェア関連部会

デジタルカメラ分科会

プリンティング分科会

社会インフラ・プラント・重  
工・建設業・鉄鋼関連部会

鉄鋼分科会

社会インフラ・プラント重工分科会

建設分科会

医療機器部会

食品部会

ビジネス環境改善委員会

税務コミッティ

知財コミッティ

輸出委員会

# 部会・委員会の充実

## 現状

### 新規組織の発足で活動が活発に

- ・新たに6分科会、1部会、1委員会が発足し、全部で24の組織で活動。
- ・サービスグループ約5割、一般製造グループ約7割が何らかの組織に属しているが、他グループと比べると少ない。（次ページ参照）

## 課題

### 約4割の企業が未所属である

- ・約4割（約200社）が適当な所属組織がない、忙しいなどの理由から参加できていない。
- ・アンケート結果によると、未所属企業は所属済企業と比べるとJCCIIの活動に対する満足度は低い。

## 課題解決 アクション

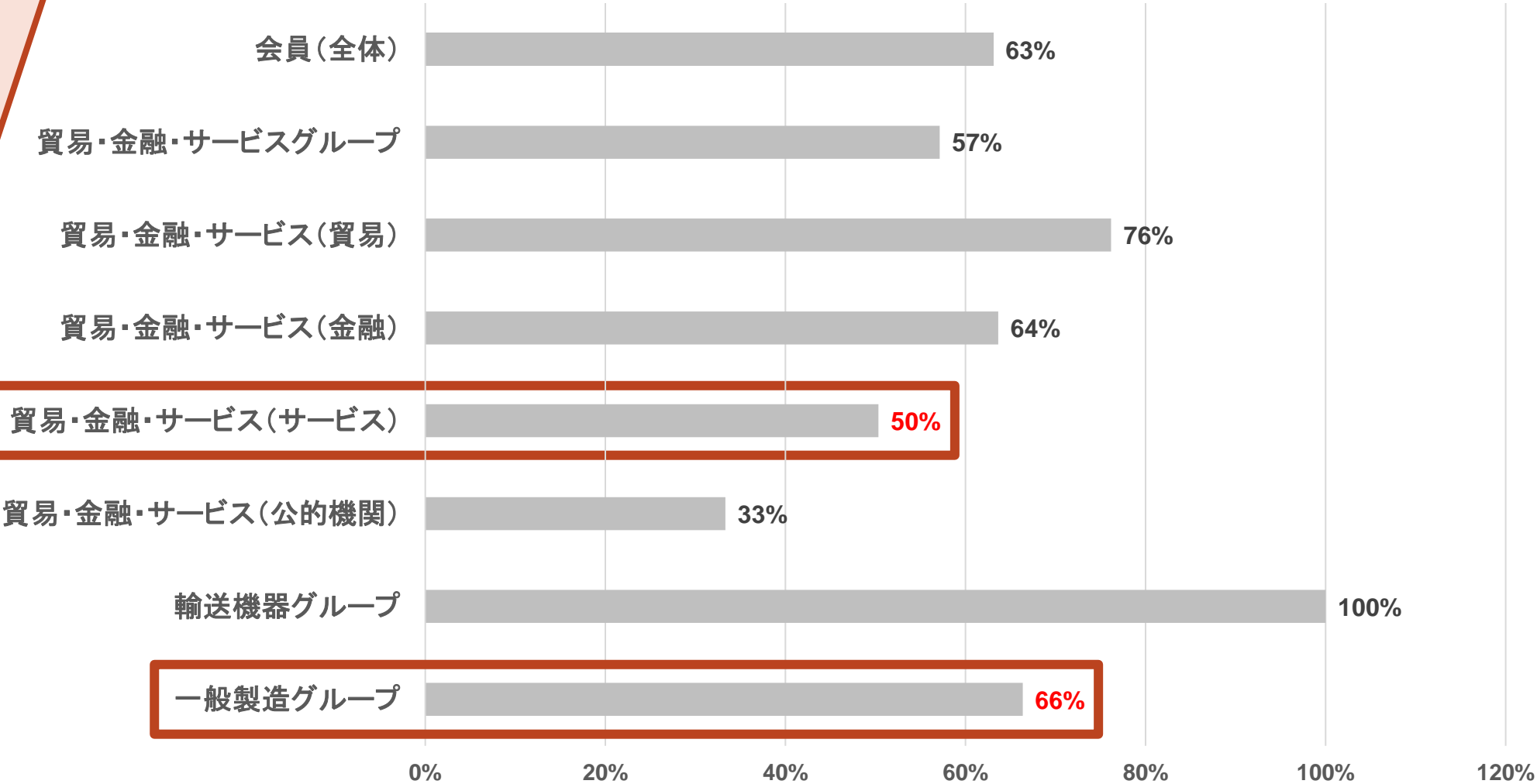
### 新規組織の発足や現組織への再募集

- ・主に組織率の低い、サービス・一般製造グループ向けの新規組織発足と再募集の検討を行う。

# 部会・委員会加入割合

・会員数 493社 (2023年4月25日時点)

## 部会・委員会の充実



# ビジネス環境 改善活動

2021年度

## ビジネス環境改善委員会の立上げ

- ・従来の「建議書委員会」の活動を一部見直し、インド政府が掲げる”自立したインド”への変革を後押しする提案を行う「ビジネス環境改善委員会」に改編
- ・各部会ベースでの議論を踏まえた提案への切り替え

2022年度

## 日印政府間5兆円目標に向けた提案

- ・2022年3月の日印首脳会談において、今後5年間の官民合わせた日本から対インド投融資目標を5兆円とすることで両国合意
- ・日印政府間FTMの枠組み導入。一部項目は優先事項として協議対象に

2023年度  
(予定)

## 在インド日本国大使館との連携強化

- ・各部会で提案事項を検討するに当たり、在インド日本国大使館とも協議段階から連携を図る
- ・FTM枠組み活用可能性も適宜相談しつつ、DPIITとの協議（新規・継続）を行う

# ビジネス環境 改善活動

4月

2023年度方針決定

5~6月

各部会・テーマベースでインド側関係部局と議論。  
その結果や新規提案を踏まえ、各部会にて取り纏める。  
※各地域商工会からの提案の取り組み  
※大使館担当者とのすり合わせ

7月

全体調整及び  
最終版作成  
(日本語版)

8月

英語版完成

9月

\*DPIITへの提出

\*Department of Promotion of Industry  
and Internal Trade

10~2月

DPIIT及び  
関係者との会議

2~3月

DPIITからのフィードバック  
必要に応じて担当部会  
ベースでの議論継続



ニュースレター  
ホームページ

## 現状

### 見やすく改善

- ・アンケート結果から、ニュースレターとHPにイラストや写真を入れて構成を工夫
- ・JCCII通信⇒JCCIIニュースレターへ名称を変更

## 課題

### 非アクティブ会員の掘り起こし

- ・アンケート結果によると、約150社はHP・ニュースレターを閲覧していない
- ・会員専用ページ・マイページの活用方法が認識されていない

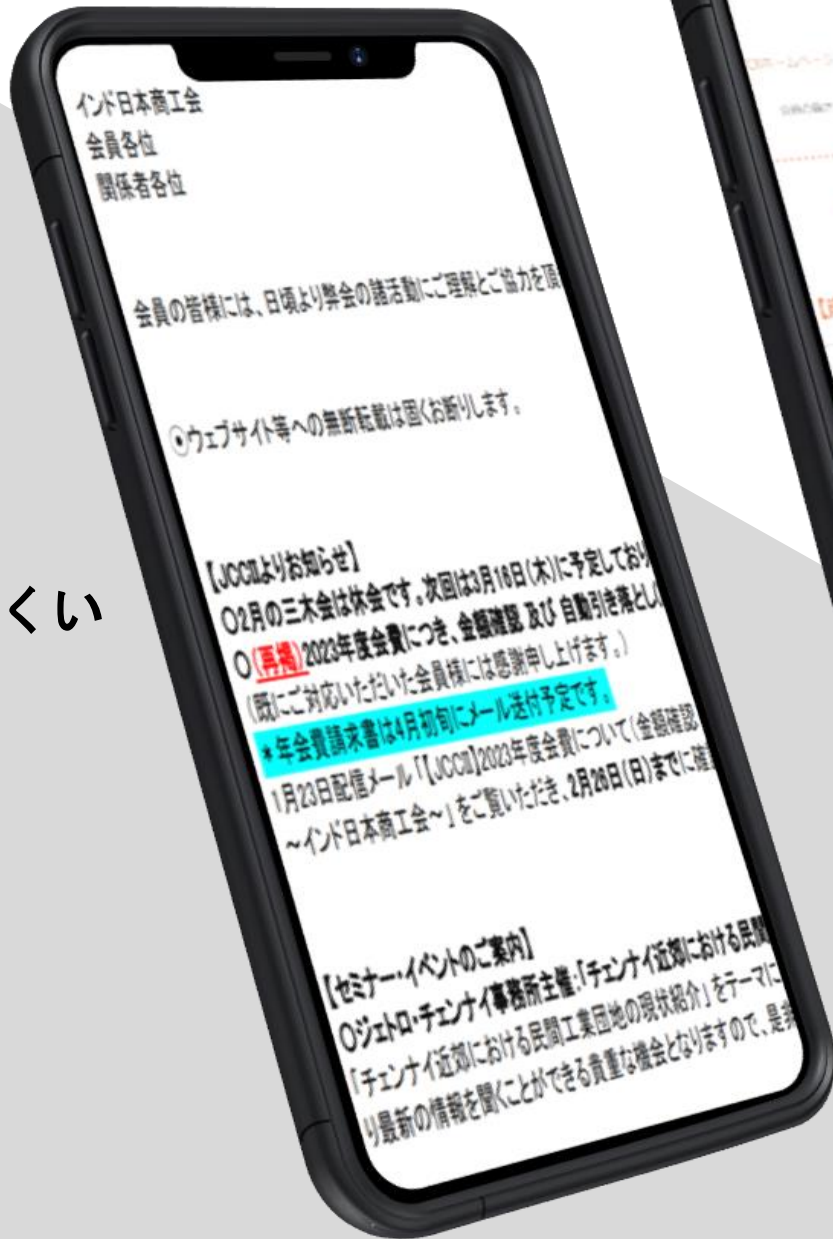
## 課題解決 アクション

### より多くの人に情報を届ける

- ・ニュースレターの開封率、リンクアクセス率の研究
- ・既進出企業の紹介（コラム形式）など、多くの人に読んでもらえるような構成と工夫
- ・商工会の活動を紹介するビデオと、マイページなどの操作方法を 9  
紹介するビデオ

# Before

文字ばかりで  
大事な事が伝わりにくい



# After

HTML形式に変更し  
内容が伝わるように  
タイトルを見やすく  
工夫しました！



# 組織の拡大

## 現状

### コアな約250社に支えられている

- ・アンケートでは、半数以上の会員からJCCIIの活動に対して満足・やや満足という結果も得られた。
- ・新規入会会員も48社と2013年以来の高い伸び率となり500社が目前となっている。

## 課題

### 非アクティブ、非会員との交流

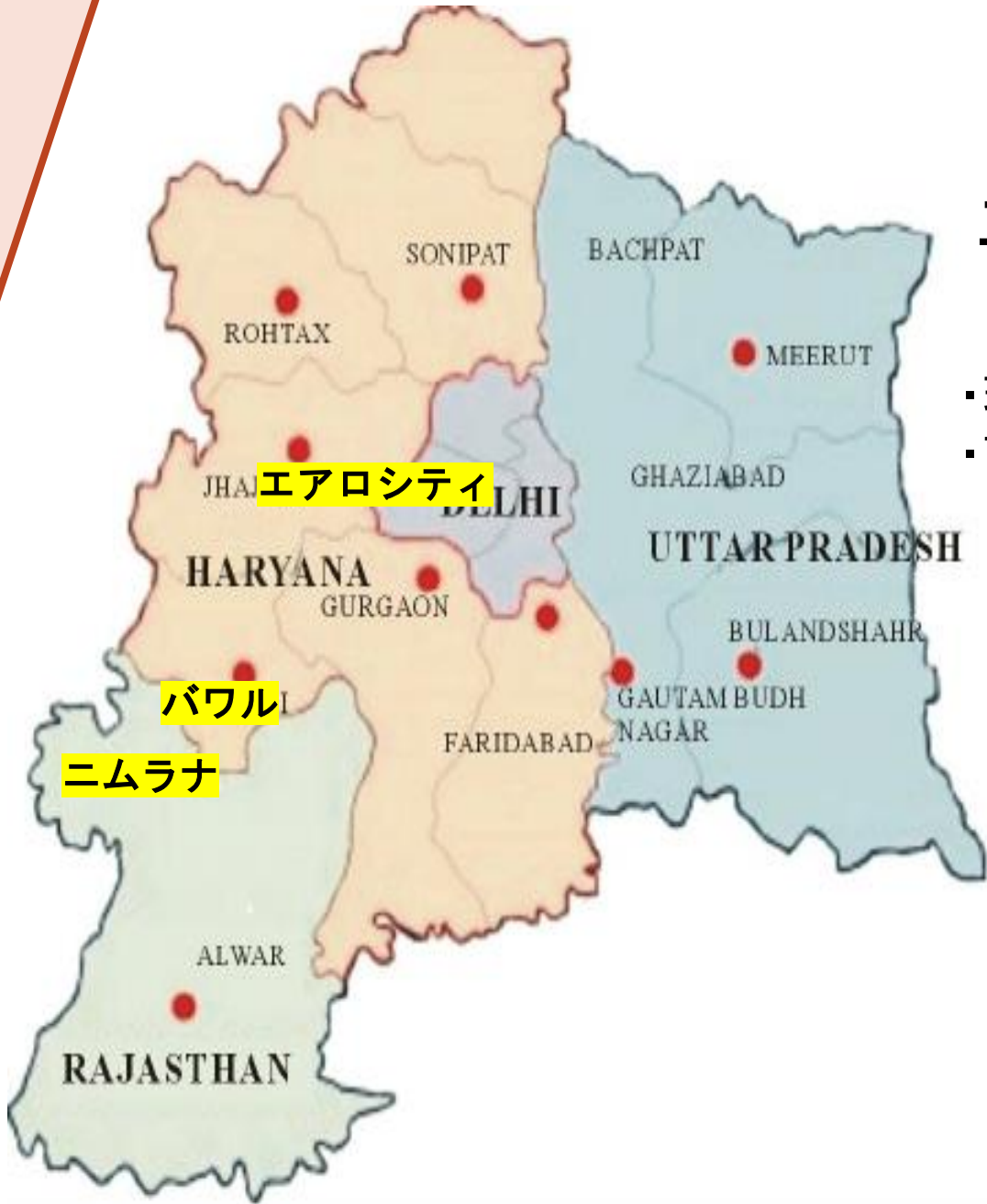
- ・HP・JCCIIニュースレターの閲覧、三木会へ参加をしていない企業、アンケート未回答企業数を合わせると約3割
- ・NCR（デリー首都圏）における未会員比率が約半数
- ・特に遠隔地における会員比率が低い

## 課題解決 アクション

### 個別コミュニケーション機会を増やす

- ・エリア会（ニムラナ/バワル/エアロシティ社長会）との連携
- ・JCCIIの活動や、マイページなどの操作方法を紹介するビデオの活用
- ・懇親会を夜に開催し昼間の三木会に参加できない会員企業へネットワーキングの機会を提供する

# 組織の拡大



## エリア社長会との連携

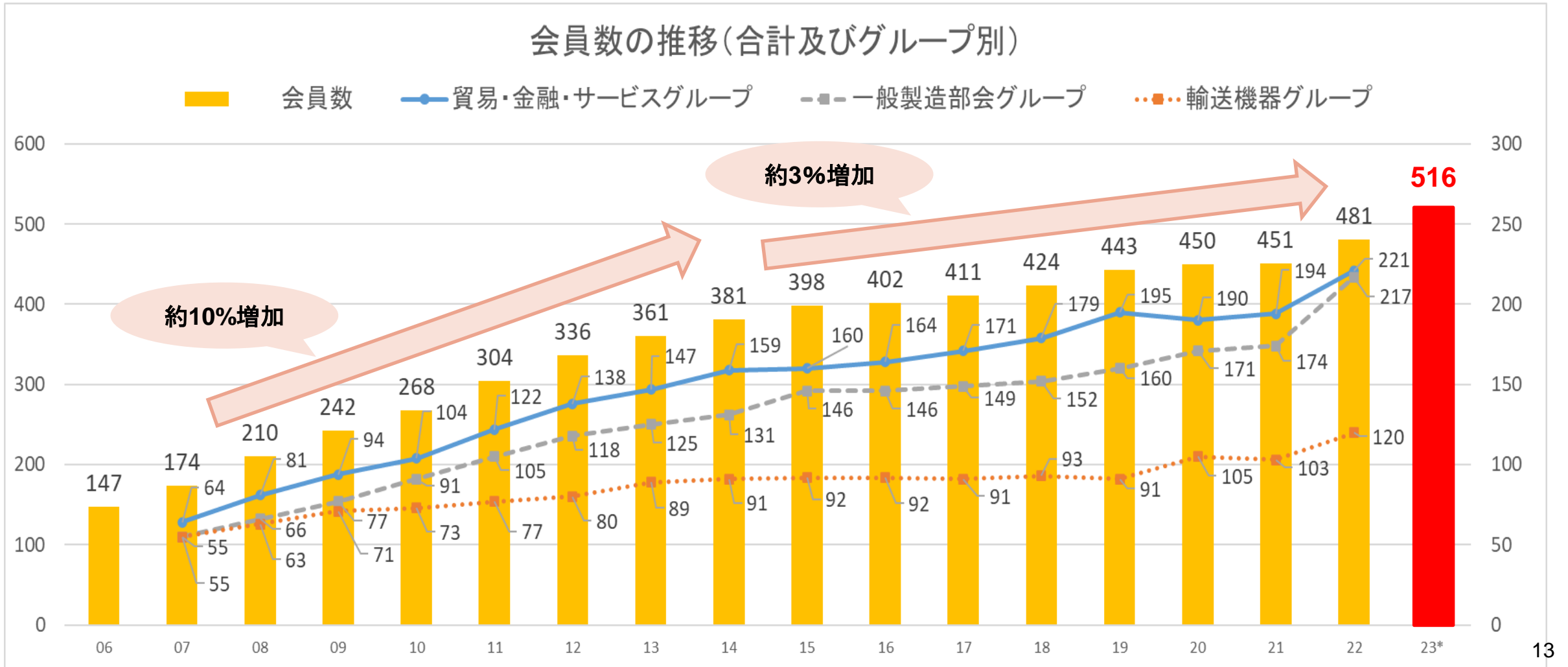
- ・現状と困りごとなどを把握
- ・商工会活動の重要ポイントや、システム操作などをお伝えする

# 会員数推移と23年度目標

- ・設立 2006年7月17日 Society（法人）化
- ・会員数 493社（2023年4月25日時点）

**目標：新規入会50社、退会15社、35社増**

会員数の推移(合計及びグループ別)



注：2019年度よりグループへの登録を複数可能としたためグループ所属数の合計と会員総数は一致しません。



# CSR活動、事務局機能の強化

## 現状

### 各種新規取組、改善を推進中

- ・ 日印国交樹立70周年記念各イベントへの協賛・参加
- ・ 青年交流事業への貢献
- ・ UNDPとのMOU締結、日本政府の2021年度補正予算で実施中のネットゼロエミッション事業への拠出4社530万ルピー
- ・ HP、ニュースレターなど改善中

## 課題

### CSR活動・サポート機能の強化

- ・ 会員企業のCSR活動サポート
- ・ UNDPとの活動連携の整理
- ・ 部会・委員会活動の運営サポート
- ・ 非アクティブ会員、非会員とのコミュニケーション強化

## 課題解決アクション

### 自由で開かれた商工会運営を目指す

- ・ CSR活動計画の作成
- ・ 日印若手人材交流（青年交流事業の継続）、女性向けのイベント
- ・ 会員の会員による会員のための運営（会員ニーズの反映）
- ・ 個別の交流機会を増やす